

研究・調査報告書

報告書番号	担当
269	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
<p>Unhealthy Maternal Lifestyle Leads to Rapid Infant Weight Gain: Prevention of Future Chronic Diseases</p> <p>不健康な母体の生活習慣が乳児の急速な体重増加をもたらす：将来的な慢性疾患の予防</p>	
執筆者	
OYAMA Mari, NAKAMURA Kazutoshi, TSUCHIYA Yasuo, YAMAMOTO Masaharu	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Tohoku J Exp Med Vol.217 No.1 Page.67-72 (2009)	
キーワード	
母体、生活習慣、乳児、体重増加	
要 旨	
<p>乳児の急速な体重増加 (catch-up) は後に肥満と慢性成人疾患につながる。本研究の目的は日本で満期出産後 1 ヶ月月、18 ヶ月における乳児の急速な体重増加と関連する母体及び環境因子を決めることである。2007 年 10 月 1 日から 2008 年 9 月 30 日の間、新潟市で 18 ヶ月検診に訪れた 1524 名の乳児と母親を対象とした。匿名の質問票を用い、乳児の体重(出生時、1 ヶ月、18 ヶ月)、性別、授乳方法、食物アレルギー、在胎期間、子供の世話人について調べた。母親の情報は身長、妊娠前体重、妊娠による体重増加、出産年齢、妊娠中毒症、妊娠中の食事回数、喫煙と飲酒習慣について聞いた。いくつかの質問票項目は母子手帳から得た。急速な体重増加(vs. 遅いまたは平均的な体重増加)に関する予測因子の独立性、つまり 1 ヶ月から 18 ヶ月間の間、0.67 標準偏差のスコア増加は多重ロジスティック回帰分析で試験した。1 ヶ月では、妊娠中の 1-2 回の食事(P=0.0016)と妊娠前の毎日の喫煙(P=0.0175)は急速な体重増加と相関があった。18 ヶ月では、デイケアの使用(P=0.0083)と妊娠前の毎日の飲酒(P=0.0130)が急速な体重増加と相関があった。以上より、母親の妊娠前の喫煙と飲酒、妊娠前のダイエット、乳児のデイケア参加が急速な乳児の体重増加に関係することが明らかになった。これらの因子の制御が将来の慢性成人生活習慣病を予防すると考えられる。</p>	